

### (3) 教育施策

#### ア つくば市教育振興基本計画（つくば市教育振興プラン）

H23.3 に策定し、つくば市の教育の振興に関する基本的な方針及び講ずべき施策を定める。

#### イ つくば市総合教育研究所の開設（H22.8）

##### ① 教科等協力員の任命（10 人）

##### ② 研修会開催状況 平成 24 年度の実績

講座数 年間 18 回（のべ 41 回）参加者数 1087 人

管理職研修講座・学力向上研修講座・各種教育研修講座 等

##### ③ 筑波大学と連携した研究事業

#### ウ 春日学園に次いで二つ目の施設一体型小中一貫校を平成 29 年度に開校予定

### (4) 全国研究大会・イベント等

#### ア 教育日本一キャンペーンの開催（平成 22 年度から実施）

毎年 11 月に教育月間事業として「つくば市教育日本一キャンペーン」を展開。幼稚園、小中学校、教育委員会のこれまでの取り組みとこれからの展望を広く周知し、つくば市の先進的な教育に対する関心と理解を一層深める機会とする。本年度の事業・イベントは以下のとおり。

##### ① 心のコンサート「心で感じて歌う」歌：岡本静子 ピアノ：牛来千鶴

##### ② つくば市の特色ある教育の紹介（小中一貫教育等についてのパネル展示・ビデオ放映）

##### ③ サイエンスキッズリーグ 2013（小中学生が自由研究の取り組みのプレゼンテーションや課題実験を行い、優秀な児童生徒を表彰）

##### ④ つくば科学フェスティバル（子供から大人まで科学を楽しめる祭典）

##### ⑤ 企画展「古代つくばの郡役所－よみがえる官衙遺跡－」

##### ⑥ 訪問ブックトーク（小中学校に中央図書館職員が訪問してブックトークを実施）

#### イ つくば市学校 ICT 教育研究大会の開催

H18 年度実施。つくば市 ICT 教育 30 周年記念事業「つくば市学校 ICT 教育研究大会～確かな学校教育をはぐくむ学校 ICT 教育」を開催し、全国から約 2000 人の参加があった。

#### ウ 小中一貫教育研究つくば市大会の開催

平成 23 年 11 月 24・25 日につくば市教育委員会主催小中一貫教育研究つくば市大会を開催。全国から約 1500 人の参加があった。

#### エ 小中一貫教育全国サミット in つくばの開催

平成 25 年 11 月 21・22 日に小中一貫教育全国協議会・小中一貫教育全国サミット実行委員会主催小中一貫教育全国サミット in つくばを開催。

### (5) 全国からの教育視察団

毎年、全国各地から教育視察団が、小中一貫教育や ICT 教育・学力向上のための施策等を参考にするため視察に訪れている。

#### ア 平成 24 年度

59 団体、726 人がつくば市教育委員会並びに吾妻小・春日学園など市内 16 校を訪問し、小中一貫教育・ICT 教育・学力向上策等を中心に視察を行った。

##### ① 県内 那珂市教委、取手市教委など 15 団体 212 人

##### ② 県外 釜石市教委、石川県能美市学校長会など 12 団体 75 人

##### ③ 海外 タイ国視察団、カザフスタン視察団など 7 団体 88 人

##### ④ 国など 国立教育政策研究所、放送大学など 4 団体 16 人

#### イ 平成 25 年度（4 月～9 月）

前期間で 44 団体、421 人がつくば市教育委員会並びに谷田部小・竹園東中など市内 10 校を訪問し、小中一貫教育カリキュラム・ICT 教育・学力向上策・外国語活動等を中心に視察を行った。

##### ① 県内 古河市教委、牛久市教委など 17 団体 288 人

##### ② 県外 佐賀県教委、沖縄県南風原町教委など 15 団体 93 人

##### ③ 海外 中国広州日本人学校、JICA など 8 団体 46 人

##### ④ 国など 文科省国際教育課教科調査官、東海大学など 4 団体 54 人



つくば市総合教育研究所



世界に貢献できる  
グローバルな人材の育成を目指して

～ブランドイメージ全国トップを誇る教育のまち「つくば」の実績～

平成 25 年度版

## 1 つくば市の目指す教育日本一とは

現在つくば市では、「自ら学び、自ら考え、自ら判断する」子供の育成を目指した質の高い教育を展開している。それを達成していくために、市内全小中学校において小中一貫教育を推進している。

つくば市は、地域ブランド調査で「教育・子育てのまち」、「学術・芸術のまち」のランキングにおいて毎年トップクラスを維持している。こうした本市の特色を生かし、新教科つくばスタイル科の実施、ICT 教育、科学技術教育、国際理解教育、環境教育の充実など知と心の調和を図りながら教育を展開し、つくばの未来を担い世界で活躍するグローバルな人材の育成に努めていく。

## 2 教育日本一を目指す特色ある取り組み

### (1) 小中一貫教育の取り組み

#### ア 教育課程特例校制度と新教科つくばスタイル科の開始

平成 23 年 12 月 22 日教育課程特例校制度に基づき、文部科学大臣から市内全小中学校が教育課程特例校の指定を受ける。これにより、平成 24 年度市内全小中学校において新教科つくばスタイル科に取り組む。

#### イ 「つくば発！小中一貫教育が世界を変える 新設『つくばスタイル科』の取り組み」（2012.10. 20 東京書籍）を出版

国内の小中一貫教育を進めている自治体の先導者となる。

#### ウ 小中一貫校を市内 15 学園で実施（平成 24 年 4 月 1 日）

平成 19 年に研究組織の立ち上げ、平成 20～23 年にかけて研究指定校を中心に小中一貫教育について検証研究。

#### エ 施設一体型小中一貫校「春日学園春日小学校・中学校」を開校

#### オ 小学校 5・6 年生の授業における教科担任制を全校で実施

### (2) ICT の活用実績

#### ア 1～9 年生を対象としたプレゼンテーションコンテストの実施

#### イ 電子黒板（60 インチ型モニター）の配置並びにデジタル教科書の活用

#### ウ タブレット型 P C の配置

#### エ 校務用コンピュータの整備並びに校務用ソフトデジタル職員室の導入

#### オ 諸帳簿デジタル化の検証実験の開始

#### カ 家庭学習支援システム（オンラインスタディ）（※1）の運用

#### キ 職員向け I C T 研修講座の開催、教師の指導力や I C T 活用力の向上

#### ク I C T 実践事例集の発行、アイデア事例集への応募

#### ケ ICT を活用した学校間共同学習の実施

#### コ インテル（株）と連携した T21 プロジェクト（※2）の実施



電子黒板を使ってプレゼンテーションを行う様子

※1 つくば市に住む小中学生が家庭からインターネットを使って学習できるシステム  
※2 児童一人 1 台のタブレット型 PC を学校教育の中でどう活用していくかについて研究

(3) 各種教育への取り組み

ア 防災教育

つくばスタイル科を核にして、竜巻災害や震災など身近に起こりうる災害から身を守る方法について、自助・公助・共助の視点から地域とともにつくる防災について学校で推進している。

イ 科学技術教育

サイエンスキッズリーグ（※3）の開催や科学3事業（科学フェスティバル・ちびっ子博士・科学出前レクチャー）を柱にして、つくば市の特色である研究所との協力を基盤にした事業を展開している。

科学研究作品展や発明工夫展において、つくば市の児童生徒の活躍や研究内容が高く評価されており、毎年茨城県でトップであることはもちろん、全国でも内閣総理大臣賞を始め団体奨励賞など多く受賞している。

※3 小中学生を対象に自由研究の取り組みやプレゼンテーション、課題実験等を行い優秀な児童生徒を表彰。

ウ 環境教育

つくばスタイル科を基盤に、環境カルタ大会や節電シール表彰などを開催する。

ラーニングエデュケーションとして環境教育のための教科書づくりを推進する。

エ 国際理解教育

120か国以上の外国人が住んでいるというつくば市の特色をいかした事業を奨励するとともに、帰国・外国人児童生徒が安心して学べる環境を保障する。

小学校1年生から外国語活動を実施している。

今後は、インターナショナルスクールと連携した教育活動を実施していく。

3 刊行物

- (1) 国際理解教育資料集
- (2) 生徒指導実践事例集
- (3) ICT教育活用実践事例集
- (4) ICT教育推進プログラム
- (5) 科学研究の手引き
- (6) 教科等協力員研究報告書「怨—教科等協力員の提言とつくばスタイル科の実践」(2013. つくば市総合教育研究所編著)
- (7) 新設「つくばスタイル科」の取り組み(2012. つくば市総合教育研究所編著. 東京書籍)



4 表彰関係及び研究実績

(1) 教育委員会・教育長への表彰・任命

表彰年度	表彰名及び成績
18	柿沼宜夫教育長が茨城県県南教育長連絡協議会会長に就任
21	日本環境共生学会環境共生活動賞において環境活動賞特別賞を受賞 いばらきデジタルコンテンツ大賞において県教育長賞を受賞
22・23	マイタウンマップコンクールにおいて実行委員会奨励賞を受賞
22・23	マイタウンマップコンクール実行委員会財団法人コンピュータ教育開発センター主催のマイタウンマップコンクールにおいて連続して受賞
23	これまでのICT教育推進の功績が認められ、東京書籍から特別賞を受賞
24	マイタウンマップコンクールにおいて共同通信社賞を受賞
24・25	柿沼宜夫教育長が情報活用能力調査に関する協力者会議委員を文部科学省生涯学習政策局長より委嘱
25	柿沼宜夫教育長が文部科学省地方教育行政功労者表彰を受賞

(2) つくば市教育長賞として県や全国等で活躍した児童生徒に表彰を行っているが、主な表彰暦(平成22, 23, 24)は次のとおりである。

表彰年度	大会名及び成績	受賞者
22	全国ジュニア発明展 団体奨励賞 「私のアイディア貯金箱」コンクール 文部科学大臣奨励賞 全国地域安全運動防犯ポスター 最優秀賞 全国中学校「創作ものづくり教育フェア」生徒作品コンクール文部大臣奨励賞 高円宮杯全国中学校英語弁論大会茨城県大会 1位 大好きいばらき作文コンクール 県知事賞 (外 37大会において44人が受賞)	二の宮小 並木小 6年 河井崇宏 松代小 6年 平瀬愛理 手代木中 2年 池田森羅  手代木中 3年 渡辺亜裕実 竹園東中 3年 江角悠
23	ぼくたちの地球を守ろう」小学生・中学生作文コンクール 外務大臣賞 TBS こども音楽コンクール 茨城県 最優秀賞 茨城県児童生徒科学研究作品展 県知事賞 日本学生科学賞 内閣総理大臣賞 全日本合唱連盟関東支部合唱コンクール 金賞 全国中学校ハンドボール大会 準優勝 (外 27大会において26人が受賞)	田水山小 6年 渡辺倫太郎 竹園東小 合唱部 二の宮小 6年 板橋茜 谷田部東中 3年 村田篤志 竹園東中 混声合唱団 手代木中 ハンドボール部
24	小学生・中学生の「知の祭典」算数オリンピック大会」金賞 牛乳パックで「遊ぶ学ば」コンクール 最優秀賞 JA共催全国小・中学生書道コンクール 農林大臣賞 山火事予防ポスター 農林大臣賞 全日本合唱コンクール全国大会 銀賞 英語インタラクティブフォーラム 県知事賞 (外 21大会において28人が受賞)	竹園東小 3年 張益嘉 栗原小 4年 久保谷尊 上郷小 4年 立川遥香 桜中 3年 古賀結花 竹園東中 混声合唱団 並木中 2年 大巴えみり

